

**保育園のわらい**  
 直接自然物や具体物にかかわり、その物の特徴を感じ取りたり量感的感覚を言葉にしたりする中で、文字や数量に関心を持つ。  
 カリキュラムNo.8…考える子ども…  
 状況に応じて、自分にできることはどんなことを考え、やってみる。  
 カリキュラムNo.40…考える子ども…

**小学校のわらい**  
 学習のルールを理解して、友だちといっしょに学んだり遊んだりすることができる。 カリキュラム No. 58…考える子ども…  
 自分の意思をはっきりと先生や友だちに伝えることができる  
 カリキュラムNo.56…考える子ども…

**つくろう！ あそぼう！**

**11月**

**～はじめての交流会～**

**石鳥谷保育園,石鳥谷善隣館保育園,石鳥谷小学校**

☆ **当日までの流れ** ☆

- ・ 7月30日(木) ・第1回 打ち合わせ(石小・善保・石保) 今年度の方向性についての話し合い
- ・ 9月29日(火) ・小学生が自己紹介カードを作り届ける。(動機付け①)・お互いの事前アンケート
- ・ 10月14日(水) ・第2回 打ち合わせ(石小・善保・石保) 交流会の内容や役割分担について、最終確認  
 保育園より、お礼のポスター、手作りおもちゃを届ける。(動機付け②)

※廃材,自然物を各施設で集めておく。交流会のペア決めなどは,連絡を取り合い決める。

☆ **交流の経過** ☆

活動の流れ	園児の姿 (○)・環境や援助 (◎)	児童の姿 (○)・指導者の支援 (◎)
9:40 体育館集合 1 はじめのあいさつ 2 歓迎のことば 3 自己紹介・なかよし遊び  10:00 4 「つくろう！あそぼう！」 ○遊びの紹介 ○遊びのルール ○つくろう,あそぼう  10:25 5 感想発表 6 先生の話 10:30 7 おわりのあいさつ	◎ペアとの出会いの場面では,子ども同士のかかわりを大切に見守る。戸惑っている姿には,一緒にかかわっていき安心できるようにする。 ○久しぶりに会う卒園生に,嬉しさと恥ずかしさの表情が見られる。 ○使用する廃材を持ってきたり,「どうやるの?」「なに使うの?」「このくらい?」など,疑問点を聞き,一緒に製作や遊びを楽しんでいる。 ○実際に遊んでみながら「丸いどんぐりで作りたい」など,素材選びをしている。   ◎子どもたちと卒園児との再会を喜びあいながら,同じバッチをつけた小学生と一緒に探したり,同じグループ同士のかかわりを大切に見守ったりする。	○緊張しながらも,自分の名前や好きなことを話し,園児に笑顔が見られるとほっとした様子だった。 ◎はっきりと伝えられない児童には,体の向きや視線など,園児に向けて話せるように声かけを行った。 ○やきいもグーチャーパーをすると,緊張感も和らぎ,お互いに話をする様子も見られた。 ○「何して遊びたい?」「○○はどう?」と何をしたいか園児に聞きながら,相談して決めている児童が多く見られた。 ○自分中心ではなく,園児の活動の様子を見て「はりがあぶないから手伝う?」と声をかけたり,「あっ,おいしい,がんばれ。」と励ましたりしながら進めていた。 ○言葉が短く,うまく言いたいことを伝えられない児童もいた。 ◎どうして欲しいのか一緒に考え,伝えられるように見守り支援する。 ○ガムテープを切る,どんぐりに穴を開けるなど難しい作業を知っているので,どこで手伝うのか園児とコミュニケーションを取りながら進めている児童も多かった。
交流後の振り返り・保育園(クラスでの話し合いから) 1, 学校ってどんなところでしたか? 楽しい 大きかった 広いところ ○○くんがいた 2, 交流会で一年生と遊んでどんな気持ちでしたか? 「一緒に作って楽しかった」 「○○くんと会えて嬉しかった」「また行きたい」 ※2月の交流会への期待感に繋げることができるよう,さまざまな気持ちを受け止めたり,共感したりしながら交流会を振り返った。	交流後の振り返り・小学校(事後アンケートから) 1,遊んでいるときどんな言葉をかけたか。 何をつくってみたい。危ないから手伝う?楽しいね。上手だね。これがいいんじゃない?など 2,園児に言われてうれしかったことは何か。 ありがとう。楽しいね。学校って楽しいね。もう一回1年生になったら作りたい。など	

☆ **考察** ☆

ペアが卒園生だったため,初めての交流会でも安心して活動に入り込む姿が見られ,親しみが増す機会になった。  
 優しくお世話してもらい,気持ちが満たされる心地よさや嬉しさを感じながら過ごすことができたことで,「また小学校で遊びたい」という気持ちが芽生え,次回(2月の交流会)への期待へ繋げるのに効果的であった。  
 文字や数への関心は個人差があるため,遊びや生活から具体物に触れる経験を豊かにしていくことが大切である。

打ち合わせ会をもって,事前に子どもたちの様子を共有し,グループ作りや事前準備など保育園・小学校が協力して行うことで,交流会へのイメージをもち,支援に生かすことができた。1年生は,交流会まで緊張感や不安感をもっていたが,教えたり頼られたりすることで「お兄さん,お姉さん」になり,話し方や行動など1時間の中でも変化が見られた。喜んでもらえる自分もうれしい,困ったことも何とか解決できたという体験は,子どもたちの自信となるよい機会となった。